

令和3年2月

## 令和3年島根県コンクリート診断士会新春研修会報告

標記研修会について下記のとおり実施したので報告します。

1. 開催日時：令和3年2月13日（土）13：00～17：00
2. 場所：松江テルサ 大会議室
3. 参加人数：45人
4. 研修プログラム
  - ・会長挨拶  
島根県コンクリート診断士会 会長 井田 豊

### 【研修】

(1) 13：10～13：40

『浜田漁港合併浄化槽に生じたひび割れ調査結果および対策工法提案事例報告』

渡辺 操 会員

(2) 13：40～14：10

『3径間連結PCプレテンT桁橋ウェブに発生したひび割れ（調査と補修）』

松浦 寛司 副会長

(3) 14：20～15：20

『島根県内のASR、DEF、凍害劣化の現状について』

金村 誠 理事

### 【特別講演】

(4) 15：30～17：00

『各種損傷事例及び工法紹介』

(株)ジャスト西日本 末包享志 代表取締役

### 5. 講習状況

- (1) 『浜田漁港合併浄化槽に生じたひび割れ調査結果および対策工法提案事例報告』  
渡辺会員より、浜田漁港合併浄化槽に生じたひび割れ調査について報告がありました。現地調査には幸前事務局長、大島理事、北野会員、河上会員も参加しています。  
最近、新設構造物のひび割れ報告が無かったので、セメントの水和熱、誘発目地について再確認できる内容でした。

## (2) 『3径間連続PCプレテンT桁橋ウェブに発生したひび割れ（調査と補修）』

松浦副会長より、3径間連続PCプレテンT桁橋ウェブに発生したひび割れについて発表がありました。

PC橋の特性、PC連結桁の構造特性から原因推察、評価の説明がありました。

構造特性、力学特性など難しい説明もありましたが、今後、PC橋を診断する業務に大いに参考となる内容でした。

## (3) 『島根県内のASR、DEF、凍害劣化の現状について』

金村理事より島根県内のASR、DEF、凍害の現状について報告がありました。

ASRは島根県東～中部にかけて発生が多く、概ね1966～1988年竣工の構造物で発生しているが、1986年のASR抑制対策以降にも発生が確認されている。

また、ASR対策として有効とされている亜硝酸リチウム工法による補修後でも再劣化が確認されている。

DEFは膨張劣化を示すが、それがASRによる劣化と近似しているため混合されていた恐れがあること、石灰石骨材が膨張に影響し、フライアッシュ等の混和材が膨張の抑制効果がある。

凍害はW/Cが高いこと、吸水率の大きい骨材、非凍結期の乾湿繰り返し凍害に影響し、県内では標高10m以下の位置では確認されていないことが報告されました。

## (4) 【特別講演】 『各種損傷事例及び工法紹介』

(株)ジャスト西日本 末包氏より構造物の非破壊検査について講演がありました。

溶接部の非破壊試験の原理や特徴、コンクリート構造物の浮き等を検出する最新の赤外線調査、路面とトンネル覆工面の調査ができる道路性状測定車の紹介がありました。

コンクリート構造物の診断にあたっては、構造物の劣化の現状を正確に測定する必要があり、これらの非破壊試験技術は今後の診断業務に大いに参考となる内容でした。

